



友好書道展

大村知事が書道展に揮毫した

あいちのつとめ

累世通好

長年に亘り友好的な関係が続くという中国の故事成語、



おかげさうございました。

全国都道府県議会議長会から自治功労表彰(県議在職 10年)を頂きました

■12月県議会閉会

愛知県議会12月定例会は12月20日に、当初議案の35件に加え国家公務員の改定をうけて追加提案された職員の給与関係改定の議案いずれも可決・同意しました。閉会中の継続審査となっていた平成28年度決算については特別委員会の審議結果を受け12月7日に認定しました。また同日、議長提案の消費税清算に関する決議も行い国へ送致しました。意見書は、教職員定数改善及び教育予算の確保について、中小企業における人材確保について、受動喫煙防止対策についてなどを採択し国へ送致しました。

■議員定数等調査特別委員会県外調査 17.11.29~30

2019年4月の統一地方選挙(県議選)に向けて6月議会で特別委員会が設置され鈴木も幹事長の立場から委員に選出されました。

茨城県議会は出前委員会や高校生の議会傍聴など議会改革を推進しており、議員定数・選挙区の在り方については議会改革推進会議で参考人招致など外部意見も取入れ、大幅な定数減としない、逆転現象の解消、1票の格差は2倍以下等を基本とし、定数の増減や合区により10通りの逆転現象の解消、1票の格差2.90倍→1.93倍に是正等の成果を上げています。全国都道府県議会議長会では平成27年の法改正や大阪府議会が東京都に合わせ議員一人当たり人口を10万人とし一挙に21人削減した事例等を伺いました。

(議員一人当たりの人口が多いのは、①東京都約10万、②大阪府約10万、③神奈川県約8万6千、④埼玉県約7万7千と続き愛知県は約7万3千人に一人で5番目)



●愛知県議会の状況

最大格差 2.27 倍

(弥富市 43,269 人 : 江南市 98,359 人)

逆転現象 1 通り

(人口 182,436 人の豊川市が定数 3 :

人口 184,140 人の安城市は定数 2)

条例定数が多い選挙区

瑞穂区、昭和区、豊川市

条例定数が少ない選挙区

豊田市、岡崎市など、安城市



■愛知県・江蘇省友好書道展出席 日中友好議員連盟 17.11.20~23

日中友好議員連盟では鄧偉中国総領事からの申出と大村知事より書道展出席の要請を受けて友好提携協定等を結んでいる江蘇省(こうそしょう)を議連11名(鈴木は監事)で訪問しました。江蘇省は人口約7千600万人(全中国の6%)、面積約10万2千k㎡(同1%) (愛知県は人口約750万人、面積約5千k㎡)、省都は南京(なんきん)です。本県からの江蘇省への進出企業は154社221拠点、中国全体では529社1,174拠点、県内市町村と中国各都市との友好提携は稲沢市と内モンゴル自治区赤峰市、名古屋市と江蘇省南京市など9市です。

訪問・調査先は、江蘇省蘇州市人民代表大会表敬、蘇州市の絹糸を使った蘇州刺繍(ししゅう)研究所、本年8月にオープンした江蘇省内で最大の文化施設である江蘇大劇院、江蘇省人民代表大会表敬、愛知県・江蘇省友好書道展です。それにしても、至る所にある高層アパート群の多さといい、道路の広さといい、大劇院の大きさといい全てがオーバースケールで圧倒されます。



STEP 21 県政 REPORT

2017H29



愛知県議会議員 すすき 純

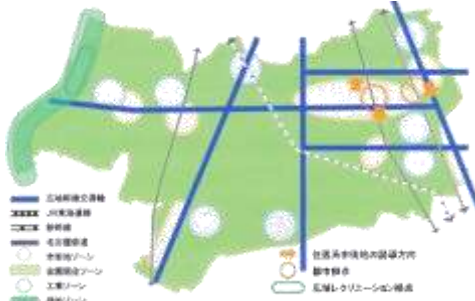
鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島 11-24
Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp

1712

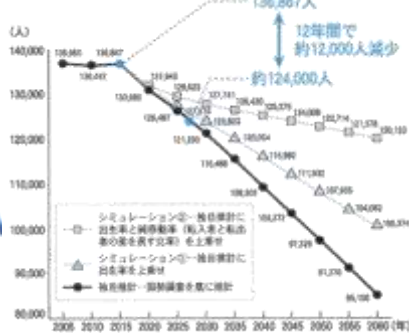
■稲沢市ステージアッププラン

稲沢市の第6次総合計画となる「稲沢市ステージアッププラン」が稲沢市総合計画審議会の協議を経て策定され9月議会で基本構想が可決されました。計画期間は平成30年度から10年間の平成39年度、リニア開業となる2027年までです。

【土地利用の基本イメージ】



【稲沢市の人口見通し】

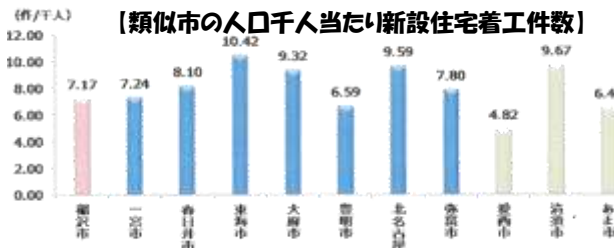


●3つのステージアップ

- ①人口減少・高齢化・リニア開業など**新しい時代(ステージ)**に対応
- ②自治体として主体性を発揮し**行政水準(ステージ)**を高める
- ③まちづくりにおける**市民との関わり合いの質(ステージ)**を高める

●まちづくりの課題

【類似市の人口千人当たり新設住宅着工件数】



稲沢市の人口は2015年からの12年間で1万2千人の減少が見込まれており、税収の減少や地域活力の低下が懸念されます。

また、新設住宅着工件数が類似市(名古屋駅から鉄道アクセス10分台)と比較して下位にあり、主要駅周辺には未だに低・未利用地が存在しており、住宅の供給不足が要因で一宮市と愛西市への転出者数が当市への転入者数を上回っていると推測されます。

●4つの重点戦略

- ①**攻めと守りの定住促進**: 国府宮駅周辺の再整備、新たな住居系市街地の形成、地域コミュニティの維持
- ②**若い世代が安心して子育てできる環境整備**: 一人ひとりの状況に応じた子育て相談、官民連携による保育サービス等の充実など
- ③**多種多様な産業振興**: 立地優位性を生かした企業誘致等、持続可能な農業への転換
- ④**次世代のための行政改革**: 公共施設の再編、まちづくりの担い手の発掘・育成

★**コンセプト** → 名古屋圏における稲沢市の存在感向上

★**稲沢市が目指すまち** → 市民が将来もずっと暮らし続けるまち名古屋圏で働く人が暮らしの場として憧れるまち

イベントまとめ

- 28日年末夜警
- 平成30年2018年1月6日消防団出初式
- 7日稲沢市成人式

STEP21

- 10日平和町商工会新年賀詞交歓会
- 12日稲沢商工会議所賀詞交歓会



あっという間に年の瀬です。今年も

鈴木は晴れて還暦ですが稲沢市も市制施行60周年です。歴史の節目といえば77万年前に磁気が逆転した証の千葉二ア。来年在素晴らしい一年となりますように… **未来へつづくまちづくり** 一生懸命働きます。愛知県議会議員 **鈴木しゅん**

●11月27・28日に議員派遣調査として静岡県と東京都を訪ねました。



●静岡県では鈴木の生まれ故郷の駿東郡長泉町に設置された小水力発電について自然エネルギー利用促進協議会から説明を受けましたが、地元企業優先、災害時に病院等に供給するため社会的適地優先、売電の1割を地元還元など先進的な取組しています。



●東京都及びアーツカウンシル東京では2020年までの東京文化プログラム(都の基金100億円、来年度予算総額46億円)を手掛けておりロンドン五輪のビッグダンスなどアジア競技大会も踏まえての連携の必要性を痛感しました。



●斎藤嘉隆参議院議員事務所では、文科省から欧米では既に取組んでいる情報教育(日本の高校では平成34年度に必修化予定)、厚労省からは進んでいる欧米の受動喫煙防止対策、資源エネルギー庁からは水素社会実現に向けて2050年目標の策定など聴取しました。

●連合愛知政策推進議員懇談会総会に魚住、木全市議と共に参加しました。



お世話になりました。来年は成年